

1 八幡ジャンクション工事

新名神高速道路と第二京阪道路とが接続する八幡ジャンクション工事では、盛土造成や橋梁工事を行っています。橋脚、橋台は概ね完成し、現在、上部工の架設を行っています。



上部工は、第二京阪道路や国道1号の夜間通行止めをしながら、鋼桁架設工事を進めています。また、現場内ではコンクリート桁の施工も行っています。

2 京田辺高架橋工事

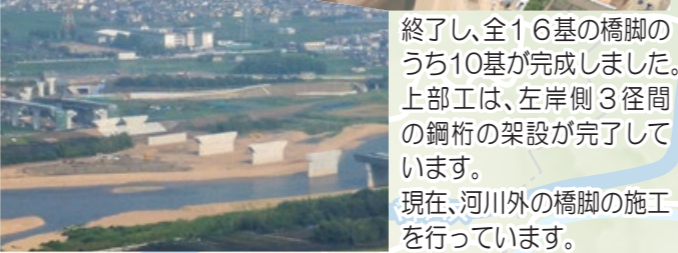
木津川橋から八幡JCT(仮称)へとつながる京田辺高架橋(全長約1590m)の建設と、高架下の整備を行っています。橋台、橋脚は概ね完成し、高架下整備及び上部工を行っています。



上部工については、西側を大型移動支保工、東側を固定支保工によるコンクリート桁の施工を行っており、約6割の架設を完了しています。

3 木津川橋工事

木津川を渡る木津川橋の建設をしています。河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間で実施しています。このほど、第三期目の河川内工事が



終了し、全16基の橋脚のうち10基が完成しました。上部工は、左岸側3径間の鋼桁の架設が完了しています。現在、河川外の橋脚の施工を行っています。

4 城陽ジャンクション工事

新名神高速道路と京奈道路とが接続する城陽ジャンクション工事では、盛土造成や橋梁工事を行っています。今年2月に行いました国道24号の切替え、城陽IC出入口の変更後、京奈道路周辺の工事を



進めています。上部工は、木津川側からコンクリート桁の施工を行っており、約2割が完成しています。また、京奈道路との交差点付近では、鋼桁の架設に向けて、地組作業を行っています。



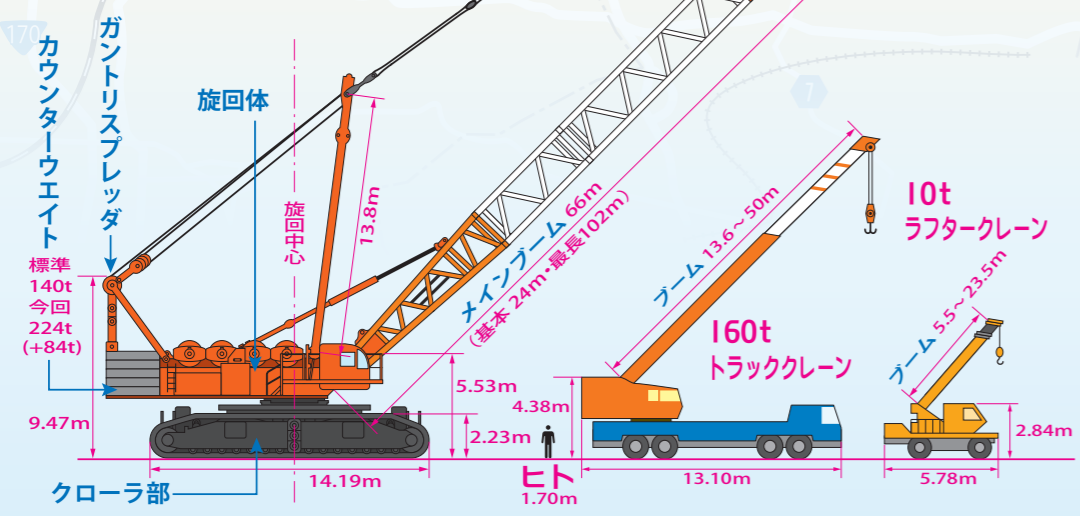
新名神京都事務所担当区間 京都府域 17.7 Km

- 城陽 JCT・IC(仮称) ~ 八幡 JCT・IC(仮称) (平成28年度完成目標)
- 大津 JCT(仮称) ~ 城陽 JCT・IC(仮称)
- 八幡 JCT・IC(仮称) ~ 高槻第一 JCT(仮称)

『高速道路ができるまで...橋梁上部工・クレーン編』

新名神高速道路の建設現場では様々な架設機械を用いて橋梁の架設を行っています。今回は、超大型重機である650t吊クローラークレーンの紹介をします。この超大型クローラークレーンは、メインブームの全長が66m(最長102m)、重量は本体約500tにカウンターウェイトが標準で140t搭載されます。大きすぎて公道を走行することができないため、分割してトレーラ延べ22台で運搬、組立には160t吊油圧式トラッククレーンを2台使用し、5日間かけて組み立てます。吊り上げ能力は、その名の通り最大650tの重量まで吊上げ可能です。八幡ジャンクション橋(鋼上部工)工事では、ランプ1号橋の国道1号バイパス交差点夜間架設時(6/30~7/3)において、40.1tの鋼桁ブロックを架設する計画に対し、作業半径が56mと大きく、その吊上げ能力が32tだったことから、カウンターウェイトを増量(+84t)し、クレーンの吊上げ能力を48.5tまで上げて架設を行いました。新名神高速道路の建設現場では、これからもたびたび登場しますので、皆さん是非注目してください!

650t クローラークレーン



2台のトラッククレーンを使っての組立



鋼桁架設状況



※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。